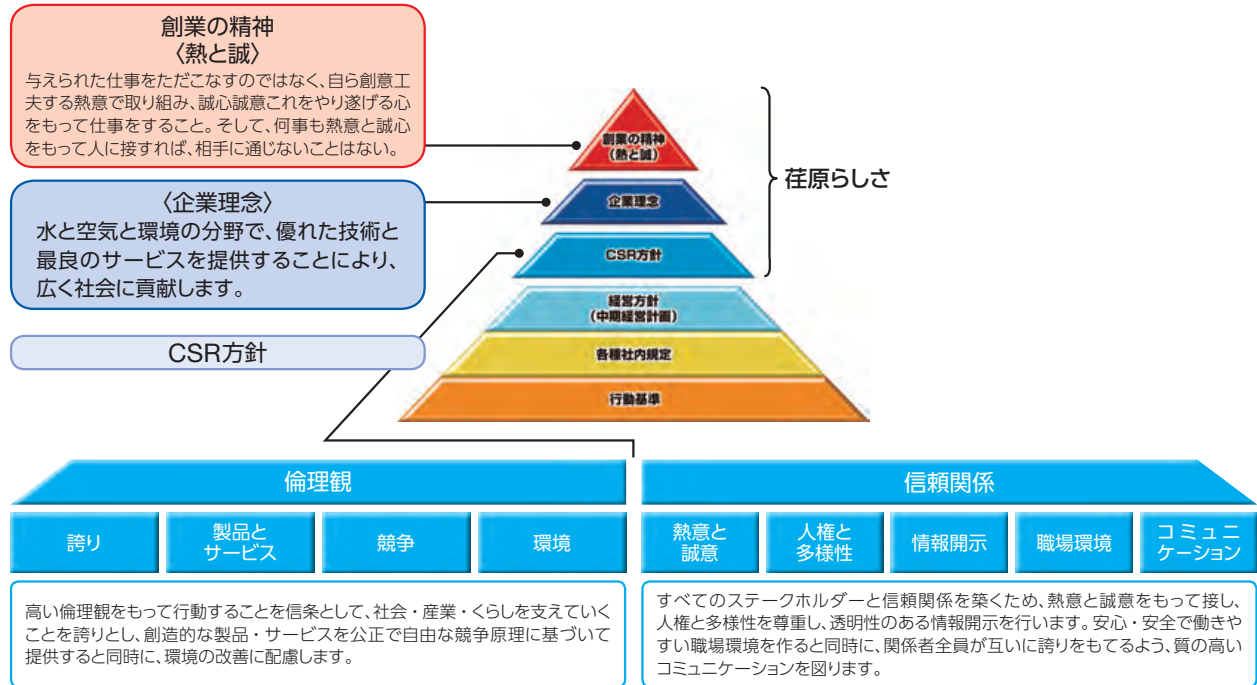


## 企業倫理の枠組み



### ■ 荏原らしさ

荏原グループは、創業の精神に基づき、常に熱意と誠意をもってステークホルダーと接します。私たちの事業活動の使命は、「水と空気と環境の分野で優れた技術と最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献

する]ことです。これは企業理念として示しています。この使命を果たすにあたって、すべての業務を高い倫理観に基づいて実行し、ステークホルダーと良好な信頼関係を築くことを荏原グループの社会的責任とすることを、荏原グループCSR方針に定めています。

### ■ 荏原グループCSR方針

荏原グループCSR方針	国連グローバル・コンパクト4分野	ISO26000		本誌ページ	
		7原則	7中核主題		
<b>1. 倫理観; 私たちは、高い倫理観をもって事業を行います。</b>		倫理的行動 法支配尊重 国際行動規範尊重	ガバナンス	10~11	
① 誇り; 社会・産業・暮らしを支えることが存在意義であると自覚します。			消費者課題	30~43	
② 製品とサービス; 創意工夫し、お客様に喜ばれる技術、製品、サービスを提供します。		腐敗防止	公正な事業慣行	17	
③ 競争; 公正かつ自由な競争の下に活動します。		環境	環境	18~21	
④ 環境; 地球環境の改善に努めます。					
<b>2. 信頼関係; 私たちは、大切な皆様との信頼関係を築きます。</b>		ステークホルダーの 利害尊重			
⑤ 熱意と誠意; 熱意と誠意をもって接します。		人権	人権の尊重	人権	22
⑥ 人権と多様性; 人権と多様性を尊重します。			説明責任 透明性		09
⑦ 情報公開; 透明性のある情報開示によって相互理解に努めます。		労働	労働慣行		23~27
⑧ 職場環境; 安心・安全な働きやすい職場をつくります。			コミュニティへの参画 及び コミュニティの発展		28~29
⑨ コミュニケーション; 質の高いコミュニケーションを通じ、互いに誇りをもてる企業を目指します。					

■ 経営方針・各種社内規定・行動基準

経営方針	荏原らしさに基づいて達成すべき経営目標を具体的に表したものを、3年ごとに作成し実行される中期経営計画(E-Plan)がその中核を成す。 <a href="http://www.ebara.co.jp/ir/policy/index.html">Web</a> 「経営方針について」 <a href="http://www.ebara.co.jp/ir/policy/index.html">http://www.ebara.co.jp/ir/policy/index.html</a>
各種社内規定	会社を組織として機能させるために各部署及び担当者の役割分担と権限を明確にして、各組織単位が守らなければならないルールを明文化したものを。
行動基準	社員が業務を遂行する際に社会の一員として順守しなければならないルールを明文化したものを。 <a href="http://www.ebara.co.jp/csr/code-of-conduct.html">Web</a> 「荏原グループ行動基準」 <a href="http://www.ebara.co.jp/csr/code-of-conduct.html">http://www.ebara.co.jp/csr/code-of-conduct.html</a>

荏原グループの社会的使命と中期経営計画

「荏原らしさ」を社会に具現化するために行う事業活動の具体的な計画が中期経営計画です。  
中期経営計画のすべての方針と施策の土台となる考

え方は「荏原らしさ」と結びついたものです。  
荏原グループは事業活動を通じて社会的責任を果たすことを目指します。

社会課題	荏原グループの社会的使命
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新興国を中心とした人口増加</li> <li>● 新興国の経済発展に伴う生活水準の向上</li> <li>● 先進国におけるインフラ施設の老朽化など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー、水インフラ、環境関連施設などの社会・産業インフラを整備する</li> <li>● 高効率なシステム／機器類の需要増加に応える</li> </ul>

荏原らしさを社会に具現化するために行う事業活動の基本方針

06ページ「グループ基本方針」に示すとおり、4つの基本方針を掲げています。  
基本方針I～IIIに関する活動と成果については、本誌30～43ページのほか、統合報告書で詳しく報告します。

本誌CSRレポートは、基本方針「IV.グローバル事業展開を支える経営インフラの拡充を図ること」に関する活動について報告します。

■ グローバル事業展開を支える経営インフラの拡充

活動テーマ	CSR方針との関係	本誌ページ
グループ全体でリスクの最小化を図る	CSR方針全体	12～23
● 荏原らしさの理解と浸透	CSR方針全体	04～05
● コンプライアンスリスクマネジメント	誇り	16～17
● 人権リスクマネジメント	人権・多様性の尊重	22・25
● 労働安全マネジメント	職場環境	23
● 品質マネジメント	製品・サービス	30～43
● 環境マネジメント	環境	18～21
● 情報セキュリティ	CSR方針全体	13・14・15
● 事業継続マネジメント	製品・サービス	13・14・15
● CSR調達マネジメント	競争	17
ICTの積極的活用とシェアード・サービスの拡充	製品・サービス	13・14・15
多様で専門性の高い人的資源の獲得・育成	人権・多様性の尊重 職場環境	24
コーポレート・コミュニケーション機能の拡充	情報開示 コミュニケーション	09